

山小屋日記

目次

山小屋日記とは
ゲームを遊ぶために必要なもの
物語の背景
ライセンス
記録の付け方
【天気】
【お客様の来訪】
【お客様のお話】
【お客様との会話や体験】
【お客様の見送り】
謝辞
バージョン

山小屋日記とは

ソロ・ジャーナルと呼ばれる1人で行うRPGゲームになります。

山小屋日記は、あなたが小屋番をつとめる通年運営小屋でのお客様との出会い、エピソードを記録して小さな物語を紡いでゆくゲームです。

ゲームを遊ぶために必要なもの

- 4面ダイス
- 6面ダイス
- 8面ダイス
- 10面ダイス
- 12面ダイス
- ノートとペン

これらは媒体は問わないものとします。デジタルでもアナログでも、好きな方でお遊びいただけます。

記録のとり方も、あなたが読み返して楽しめるのであれば、どのような形式でも構いません。箇条書きでも短編小説のようにまとめても、イラストや漫画にまとめても自由です。ブログやSNSに投稿するのも面白いかも知れません。

また途中で飽きたり疲れてしまったりする場合は筆を置くことも考えてもいいかもしれません。休憩の後ふたたび書き始めても、そのまま筆を置くのもあなたの自由です。しばらくして書きたくなったらまた書き始めるのも良いかも知れません。

時間の制約がないため、好きな時に始め、好きな時に休み、好きな時に中断し、好きな時に再開し、またもちろん最後まで続けることも一向に構いません。

また途中でダイスを振ることがありますが、結果にあまり気乗りがせず他の選択肢を選びたい場合もあるでしょう。そのようなときはあなたが選びたい選択肢を選んでください。場合によってはこのガイドブックにない選択をしても一向に構いません。選択肢は物語を進めるためのガイドと考えていただいて構いません。

物語の背景

その山小屋はとある山系の森の中にひっそりと佇んでいます。



小屋は通年営業しており、お客様が多い日もあれば少ない日もあります。あなたは1年を通していろんなお客様と出会います。

そのような出会いの中で、あなたは毎夜床につく前に印象深いお客様とのエピソードを日記に綴ります。

あなただけが物語を日記に綴ってください。

ライセンス

このプレイガイドの著作権は作者である Mitsugu Oyama (Internet Nickname : OrzBruford) がそのすべてを有しますが、[CC BY 4.0 Deed](#)により無償でユーザにライセンスされます。

本プレイガイドにより生まれた二次著作物についても同ライセンスの元に本ガイドブックの使用が許諾されます。したがって CC BY 4.0 Deed に則る限りに置いて、ユーザは商用、非商用を問わず本著作物そのもの、二次著作物を自由に配布、再配布することができます。

二次著作物には、本プレイガイドのプレイログ、本プレイガイドを拡張したプレイガイド等も含まれます。

ライセンスに CC BY 4.0 Deed とあるように、二次著作物についてライセンスの "継承 (SA)" は求めておりません。ご安心してご利用ください。

記録の付け方

プレイの順序

【天気】

その日の日付、記入者、天気を記入します。

【お客様の来訪】

その日にいらっしゃったお客様がどんなご様子だったか記入します。

【お客様との会話や体験】

お客様が話されたお話やお客様との体験を記入します。あなたがそれにどう応じたのか、あなたがお客様と何を体験したのかなどを記入していきます。

【お客様の見送り】

お客様を見送りそのときの様子を記入し日記を閉じます。

それぞれのフェーズでロールが発生します。ロールが発生したらトランプもしくはダイスでランダムに選択肢から選びます。

とはいえロールの結果に必ずしも従う必要はありません。書きたいことがあればそれを選んで書いてもいっこうに構いません。これはあなたが紡ぐ物語なのですから。

すべての記録、またはここまででよいと思われる記録をするし終えたらゲームは終了です。またあのお客様に会いたいと思われたら日記帳をひらくことをお勧めします。

【天気】

その日の天気の様子を決めます。まずはそれぞれの項目のダイスを振りましょう。項目には "季節"、"天気"、"風"、"視界"、"予報" があります。

天気が決まったら日付と天気、あなたの名前を記録しましょう。

季節

1. 冬
2. 春
3. 夏
4. 秋

天気

1. 晴れ
2. 曇り
3. ガス
4. 雨
5. 雪
6. 再度サイコロを振る

※ この物語世界では季節が "夏" であっても "雪" が降ることがあります。ただし現実世界の気象に従いたい場合は "夏" に "雪" となった場合は、"雪" 以外の天気がでるまでサイコロを振るか、好きな天気を選んでください。

風

1. 無風
2. 弱風
3. 強風
4. 暴風

※ 季節が "夏" の時期の "雪" では自動的に "暴風" となる。

予報

1. 快方に向かっている
2. 現状維持
3. 悪化傾向
4. 30 分もたたずに大荒れになる

【お客様の来訪】

お客様がおみえになった時間や身なり、どのような様子かをダイスを振り決めます。それぞれの項目のダイスを振りましょう。項目には "お客様の到着時刻"、"お客様の装備"、"お客様の様子" があります。

またあなたが綴りたい物語がすでにある場合は、ここでダイスを振らずにあなたの物語に沿った "お客様の状態" を書くこともできます。

お客様の到着時刻

1. 朝
2. 昼頃
3. 夕方のまだ明るい頃
4. 日が沈もうとしている頃
5. 日が暮れて暗くなってから
6. 就寝時刻を過ぎてから

お客様の装備

1. まるで観光客のような軽装
2. 一般的な縦走装備
3. 冬山用装備
4. ヘルメット、ロープ、カラビナ等アルパイン装備

お客様の様子

1. 高揚しているような
2. 楽しげな
3. 力強い
4. 落ち着いた
5. 疲労困憊のような
6. もの悲しげな
7. 慌てている
8. 半ばパニックになっているような

【お客様のお話】

あなたはお客様にあった出来事をお客様から聞きます。お客様が話された内容をダイスを振って決めます。

またあなたが綴りたい物語がすでにある場合は、ここでダイスを振らずにあなたの物語に沿った "お客様の体験" を自由に綴ることもできます。

お客様の体験

1. 気持ちの良い登山を堪能することができた。
2. 百名山の百座目の登頂を果たした。
3. シャリバテてへろへろになりながらやっとのことで小屋にたどり着いた。
4. 山を歩きながら風景や高山植物を写真に納めることができた。
5. 天候の悪化に見舞われながらもなんとか小屋にたどり着けた。
6. 途中ルートをロストしそうになりながらもなんとか小屋までたどり着いた。
7. 途中で道に迷いフォースト・ビバークに追い込まれた。
8. 仲間が滑落した。
9. 仲間がはぐれた。
10. 仲間が低体温症で倒れた。
11. 体調不良い。
12. 昔話。

【お客様との会話や体験】

"お客様のお話" に関するお客様との会話や出来事を綴ります。ダイスなどによるロールはありません。自由に綴ってください。

【お客様の見送り】

お客様をお見送りします。お客様はどんな様子で小屋を去るでしょうか。またあなたはこのお客様との会話や出来事を思い浮かべながら記録をまとめます。

まとめ終わったらその日の業務は終了です。明日も多くの登山者が待っています。お疲れ様でした。

謝辞

このゲームは[レンチ工房](#)さんの[箱庭書架庫](#)にインスパイアされて作られました。先人の方々のたゆまぬ努力に感謝を込めて。

バージョン

山小屋日記

Version 0.1

copyright 2023 mitsugu oyama (Internet Nickname : OrzBruford)

[CC BY 4.0 Deed](#)

[PDF 版](#)

[GitHub](#)